



2005年5月16日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 竹中 登一
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東証・大証・名証(各第一部)、札幌
決算期 3月
問合わせ先 広報部長 田中 昭弘
Tel:(03)3244-3201

アステラス製薬の医療関連製品事業からの撤退について

アステラス製薬株式会社(本社:東京、社長:竹中 登一 以下「アステラス製薬」)は、このたび、医療関連製品事業から撤退することを決定しましたのでお知らせします。

当社は、本年4月1日に山之内製薬株式会社と藤沢薬品工業株式会社(以下「旧藤沢薬品」)の合併により発足し、その方向性として医療用医薬品への経営資源の集中を掲げており、今回の決定は、これに沿ったものです。

旧藤沢薬品は1972年より医療関連製品事業を展開しており、現在では研究用試薬、臨床検査用試薬などの販売を行っています。今回の決定に伴い、これらの医療関連製品につきましては以下ようになります。

1. 研究用試薬

- ・各種モノクローナル抗体をはじめとするBecton, Dickinson and Companyの製品につきましては、本年9月末日をもって日本ベクトン・ディッキンソン社に販売を移管します。この移管に伴い、当社の医療関連事業部より従業員の一部が同社に移籍する予定です。
- ・遺伝子解析用試薬であるVysis, Inc.の製品につきましては、臨床検査用試薬を含め、本年9月末日をもって同社の親会社であるAbbott Laboratories の日本法人であるアボット ジャパン株式会社に販売を移管します。

2. 臨床検査用試薬

- ・尿検査試薬を始めとする臨床検査用試薬の今後につきましては、現時点では未定です。

なお、臓器移植に使われる臓器保存液「ピアスパン」は当社での扱いを継続します。また、本件が当社の業績に与える影響は軽微です。

以上

<ご参考>

アステラス製薬株式会社の医療関連事業部の概要

売上高： 約35億円(2003年度)

人 員： 約50名

事業形態：研究用試薬、検査用試薬などの医療関連製品の仕入れ販売

主要取り扱い製品：BD Pharmingen試薬(Becton, Dickinson and Companyの製品)

BD Immunocytometry試薬(同上)

BD Transduction試薬(同上)

Vysis試薬(Vysis, Inc.の製品)

尿検査試薬「ウロピース」他

以 上